

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です。)

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、14名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。

官民連携手法の利点を活かし、継続性のある施設運営を!

西塚 和音 (はつらつ創造)



録画配信の
2次元コード

◆入地域子育て支援拠点施設等整備事業

- ①PPP/PFIを取り入れたきっかけは。
- ②優先交渉権者の構成企業に問題が生じた場合、優先交渉権者の扱いは。
- ③設計変更などが生じた際のコストが、予算に及ぼす影響は。

こども支援部長 ①狭山市公共施設再編計画における基本的な考え方として、民間との連携や民間の資金などを活用するPPP/PFI手法を取り入れることを検討するとあることから、維持管理の効率化と財政負担の平準化を図るため、官民連携手法を導入することとした。

②事業者の責めに帰すべき要因により優先交渉権者が事業から撤退する場合、基本協定を解除その他のテーマ▶協働のまちづくりを担う人材育成▶組織運営上サポートできる体制▶現在の財政的支援

し、違約金の請求などを行うとともに、事業の継続に向け、次点者と交渉を開始することとなる。また、構成企業が辞退する場合は、市の承認を受けた上で、残る構成員が連帯して事業を継続することとなり、必要であれば新たに構成企業を追加できる。

③設計変更などに伴う工事費の増加は、市の指示によるものを除き原則事業者が負うことになる。また、資材の調達が困難となった場合や資材費などの高騰により設計変更が生じる場合は、施設の安全性の確保を第一とするとともに、変更は最小限にとどめ、一定程度の工事費の増加は事業者の負担となる。



上記機能を持つ新施設11月着工へ

人と人が地域で支えあう地域共生社会の実現を目指す

加賀谷 勉 (公明党)



録画配信の
2次元コード

◆一人ひとりに寄り添うことが社会の仕組みを変革し、狭山市の大きな発展につながっていく

地域包括ケアシステムの地域を「地域福祉」という視点を持つことで、高齢者のみならず、障害のある方、生活困窮者、ひとり親家庭、子育て世代など、属性や世代を問わない包括的な支援体制が構築され、重層的支援体制整備事業が進められる。加えて、「福祉でまちづくりをする」ということを主眼に置いた地域包括ケアシステムの構築を進めることで、多くの社会問題の解決策にもなり、狭山市を支える仕組みにもつながると考えるが、市長の見解は。

市長 第8期狭山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、高齢者福祉の将来像を高齢者

一人ひとりが住み慣れた地域で互いに支え合い、安心して生活できるまちと位置づけている。こうしたまちづくりのために必要となる地域包括ケアシステムの構築においては、社会の仕組みを変革し、それにより市全体の支援体制や共助の基盤をつくる取り組みが重要であると考えている。一方、高齢者のみならず、全ての世代の人々が直面する困難、生きづらさの多様性・複雑性の課題を解決するために重層的支援体制整備事業を進めているところであり、こうした包括的な支援体制を構築していくことが、人と人が地域で支え合う地域共生社会の形成を目指すことになり、地域包括ケアシステムの実現につながるものと考えている。



その他のテーマ▶高齢者福祉のさらなる充実強化を

ツブブロックは学習への悪影響があるか? 規律を乱すか?

笹本 英輔 (改進)



録画配信の
2次元コード

◆ツブブロックは悪影響のある奇抜な髪型か?

教員が校則で制限されている髪型にしている事例が見受けられるが、生徒や保護者への説得力に欠けはしないか。

学校教育部長 配慮のない教員からの指導などは説得力に欠けることも考えられるが、児童生徒と立場が違うことから、社会通念上認められる範囲内での髪形は許容されると考えている。

◆生徒や保護者の声に耳を傾けて!

髪型に関する指導件数を把握しているか。生徒や保護者に髪型についてアンケート調査をする考えは。

学校教育部長 具体的な件数などは把握していないが、実態に応じた指導が適切になされている

と認識している。校則は、児童生徒の実態に合わせて適切に定めていると捉えており、アンケート実施は考えていない。

◆みんなで時代に合わせたルール作りを考えよう!

校則をホームページなどで公開した上で校則の見直しについて意向調査を行う考えは。

教育長 校則は、必要かつ合理的な範囲内で、各学校において個別に定められている。児童生徒や学校を取り巻く社会環境は変化している。校則の見直しは、各学校が検討した上で必要があると認められれば、意向調査などの実施を行うべきと考えている。なお、校則のホームページ上の公開は進めていきたい。爽やかで若者に人気の髪型だが...



その他のテーマ▶学用品リサイクル窓口を設けては▶学校給食配膳室・休憩室に空調設置を

「誰ひとり取り残さない」はとても温かくて素晴らしい言葉

高橋ブラクソン久美子 (市民派無所属)



録画配信の
2次元コード

◆ジェンダー平等の実現は世界の合言葉。埼玉県は遅れているが狭山市の現状は

女性の割合が30%以下の審議会とその改善策は。特に、防災会議、国民保護協議会などに関し、女性の参加を促すような方策は。校長、教頭、PTA会長の女性の割合は。

総務部長 各審議会委員の改選の際には、女性委員の割合を遵守するよう所管課に働きかけており、女性委員の割合は増加傾向にある。

危機管理監 委員を任命する際、条例などにより役職の定めのない委員に関しては、女性の推薦を依頼するなど女性委員の割合を高めたい。

学校教育部長 市内の公立小中学校の女性管理職の割合は、校長職が21.7%、教頭職が17.4%であり、PTA会長職は21.7%である。

◆埼玉県は女性の非正規雇用が多く女性の賃金も男性に比べ6割。年金も大きな格差が

高齢女性の貧困問題に対する見解と手助けのための施策は。

福祉部長 結婚や出産などのライフステージにおける離職や非正規雇用への転換など、社会構造的なものであると認識している。高齢女性の貧困に対する施策は、本人の希望などを丁寧に聞き取り、生活困窮者自立支援制度などをはじめとする制度や支援につなげている。



生活保護の申請は生活福祉課へ

その他のテーマ▶ジェンダー平等を実現しようについての見解、推進に関して▶市街化、市街化調整区域の開発

ここに掲載していない一般質問の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧いただけません。ホームページをご覧にならない方には、FAXか郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。04-2953-1111 内線3313